大事協だより



大島地区公立小・中学校
事務職員協会　研修部
第 ９３ 号
２０２６年7月７日

夏到来！！体調に気をつけて頑張りましょう！！

大事協は次のような意義のもと設立し活動しています。

① 大島地区小･中学校事務職員全員参加の「輪（わ）＝会」を目標とする。
② 本会は、地区内の緩やかなつながり･親睦･融和･資質向上を目指す。
③ 大島地区における情報交換の場とする。
④ 実務研修の充実を図る。

＜ 会長あいさつ ＞

戸口小学校　藤崎　久子

今年度より，会長を務めさせていただくこととなりました。龍郷町に赴任するのは２回目となりますが，１回目と今回と役員として関わることができ，何かしらのご縁を感じているところです。会員の皆さまのお力をお借りしながら，これまで築かれてきた時を大切に，これから先もみすえつつ頑張っていくことができたらと思っております。

さて，先日の地区事務研終了後の総会・交流会ありがとうございました。大島地区は海を隔てて成り立っております。学校規模も大規模校から極小規模校，兼務校を持っている事務職員と職場環境等様々です。今年度からは市町村ごとの事例研修発表を再開することとなりました。発表市町村が無理されることなく，また，大事協が会員の皆さまの集いの場，研修の場のひとつとして，これからも継続していけますよう努めてまいりたいと思います。

大事協は『地区内の緩やかな繋がり』を基本理念としております。今後も会員の皆さまの御支援・御協力をいただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

＜ 令和８年度大事協役員 ＞

職名	氏名	勤務校
会長	藤崎　久子	戸口小学校
副会長（総務）	沖田　幸祐	知名中学校
副会長（研修）	安藤　光平	天城中学校
書記	太田　順子	篠川小・中学校
会計	谷口　海澄	名柄小・中学校
監事	奄美市（東部・住用）から選出	
監事	龍郷町から選出	

◎県費事務改善検討委員会委員
鶴田　京佑（瀬戸内町立阿木名小学校）

＜ 会計係より ＞

第１回大島地区小･中･義務教育学校事務職員研修会終了後，交流会が開催されました。その会計報告をいたします。昨年度に引き続き，今年度も多くの会員のみなさまにご参加いただきました。ありがとうございました。

（収入）参加者分 4,750 円×62 名(補助 1,750 円×58 名)
横断幕代 4,000 円　　合計 298,500 円
（支出）料理･飲料代 4,500 円×62 名
設営料 250 円×62 名　　横断幕代 4,000 円
※上記金額は全て税込　　合計 298,500 円
（収支）　298,500 円 － 298,500 円 ＝ ０円

＜各地区からのお便り＞

今回は瀬戸内町事務職員部会から素敵な原稿をいただきました。併せて「支援室だより」もいただきましたのでぜひご覧ください。

瀬戸内町学校事務支援室･
瀬戸内町事務職員部会

本町は加計呂麻島･請島･与路島の ３ つの離島を抱えており，町内に小学校単独校 ３ 校，中学校単独校 １ 校，小中併設校 ６ 校が点在します。学校同士は海を隔て離れているものの，メンバー同士で日頃からミライムや電話等を用いて情報共有し，相互連携を図っているため，組織運営を円滑に進めています。

前回（2025 年３月），瀬戸内町が記事を執筆してから変化したこととして，代表が専門員へ昇格し，室長に任命されたため，３ 年ぶりに支援室として活動できることが挙げられます。一見すると，支援室と支援準備室どちらも同じ組織に見えますが，諸手当認定審査における決裁権の所在が支援室にあるのか，それとも各学校長にあるのかという大きな違いがあります。特に本町のように ６ 名のうち ５ 名が兼務校（最多は ５ 校）を抱えているところでは，支援準備室にて回覧した後，本務校と兼務校それぞれにおいて再度管理職へ回覧する必要があったため，タイムロスが生じ，迅速な事務処理を行いにくいという課題点がありました。

今年度は支援室再開に伴い，年度当初における諸手当認定審査の起案書について，昨年度まで使用していたものを基に押印欄を支援室仕様へ編集し，暫定的に使用しましたが，今後は近年制度改正された内容を反映させたり文言修正等を行ったりしながら，１ 年間かけて再度見直していきます。他にも，令和５ 年度より毎年実施している管外研修視

察（1 泊 2 日行程）についても，本町事務職員部会における今年度のテーマ「縦横連携を活かした相互学習による事務実践力の向上」に沿った研修を行う予定です。

支援準備室として活動してきた 2 年間の経験を活かし，従来よりも持続性のある活動を進めていきたいと考えています。



撮影場所：与路小中学校

※余談ですが，本町では「第 34 回奄美シーカヤックマラソン IN 加計呂麻大会（7 月 5 日開催）」の他に，『第 19 回加計呂麻島ハーフマラソン（11 月 22 日開催予定）』も行われます。詳細につきましては，本町ホームページまたは大会ホームページをご覧ください。



＜ 新規採用者の声 ＞

今回は阿室小学校池畑先生から素敵な原稿をいただきました。

はじめまして、今年度より宇検村立阿室小学校の臨時的任用職員として勤務させていただくことになりました池畑 真吾と申します。

私は 30 数年余り、神奈川県のほうで IT 企業（日立）のシステム開発部門で働いて参りました。しかしながら年老いた両親の急速な衰えを感じ、両親のサポートのため長年勤めて来ました会社を退職することを決心し、地元の奄美へ帰省して参りました。

このたび、縁あって、これまでとは分野が違う事務職員として公立学校の職務を経験できることに喜びを感じております。また勤務する阿室小中学校には私と同じ高校出身の先生方が3名ほど勤務されていたこともあり、とても恵まれた環境で働けていることにとても感謝しております。

これまでは、ほぼ紙ベースの帳票はなく、共有サーバ上で全ての帳票を管理するペーパーレスの環境で働いて参りましたが、今は私の席の後ろには大量のキングファイルが並んでおります。これからは事務マニュアルと格闘しながら（楽しく）事務処理に励む所存です。
どうぞ、よろしくお願いいたします。

宇検村立阿室小学校 池畑 慎吾

＜ 退任のあいさつ ＞

副会長（総務担当） 本田 英子

4年間、総務部担当としてかかわらせていただきました。

過去、書記・会計としても携わったこともありましたが、その中で感じたことは、時代とともに大事協の事業等が変わっていっても、変わらないのは皆さまのご協力あっての大事協だという事です。

至らないことも多々あった中で無事に4年間務めることができたのは、まさに皆さまのご協力のお陰と感謝しております。4年間、ありがとうございました。

会計 秋丸 幸賜

1年間という短い期間でしたが，大事協の会計を担当させていただきました。各種団体への補助金の申請など，普段の業務ではあまり行わないこともあり，多くのことを学ばせていただきました。

新規採用で大島地区に赴任し，5年間事務職員として勤務することができたのは支えていただいた周囲の先生方のおかげだと思っています。さらに最後の1年間は大事協の皆さまにも支えていただき，事務職員同士のあたたかいつながりを感じながら，過ごすことができました。大変お世話になりました。

会計として適切な管理・執行に努めようとしましたが，至らぬ点もあり，ご不便をおかけしたこともあったかもしれません。理事や役員の皆さま，会員の皆さまのご支援とご協力によりなんとか無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

＜ 新任のあいさつ ＞

会計 谷口 海澄

この度，令和８年度大事協会計を努めさせていただくことになりました，宇検村立名柄小学校の谷口海澄と申します。宇検村に赴任して２年目，事務職員としての業務も２年目となりました。昨年度は一会員として皆様と一緒に会計報告を拝聴しておりましたが，今年度は自分が管理・ご報告する立場となり，その責任の重さに身が引き締まる思いでおります。大事協の会計の業務を担当するのは今回が初めてで，日々執行部会や理事会の先輩方に役員としての仕事を教わっているところです。皆様からお預かりしている大切な会費を適切に管理し，健全な運営を支えられるよう，誠心誠意努めてまいります。至らない点も多く，皆様にご相談やご協力を仰ぐことも多々あるかと存じますが，1 年間精一杯努めますので，よろしくお願いいたします。

集約・編集、原稿を寄稿してくださった皆様ありがとうございました。また大事協を支えてくださった先生方ありがとうございました。次回の発行は 10 月を予定しています。集約・編集、原稿担当の市町村の先生方，ご協力よろしくお願いします。